

アジア太平洋研究賞受賞者

回	区分	氏名	学位論文タイトル
1	本賞	見市 建	インドネシアにおけるイスラーム左派：その知識人ネットワークとイデオロギー
1	本賞	陳 天璽(ちん てんじ)	華商のネットワークとアイデンティティ
2	本賞	青山 和佳	ダバオ市におけるバジャウの都市経済適応過程—経済的生活水準とエスニック・アイデンティティの観点から—
2	本賞	菅原 由美	19世紀中部ジャワ宗教運動研究—アフマッド・リファイ運動をめぐる言説—
2	本賞	包 慕萍(ばお むびん)	モンゴル地域フフホトにおける都市と建築に関する歴史的研究(1723年-1959年)—周辺建築文化圏における異文化受容—
2	佳作	石川 亮太	近代朝鮮をめぐる国際流通の形成課程—アジア域内市場の中の朝鮮植民地化—
2	佳作	鄧 応文(とう おうぶん)	1990年代における中越経済関係—国境貿易を中心にして—
3	本賞	中島 岳志	現代インドにおけるヒンドゥー・ナショナリズム運動
3	本賞	玄 大松(ひょん でそん)	戦後韓日関係と領土問題—韓国における「独島問題」の言説とイメージ
3	佳作	山本 博之	英領北ボルネオ(サバ)における民族形成
4	本賞	猪口 真大	アジア諸国の危機前後における金融政策と金融システム—途上国の有効かつ効率的な金融政策—
4	佳作	楽 君傑(らく くんけつ)	中国東部沿海農村の労働市場に関する数量分析
5	本賞	樋渡 雅人	ウズベキスタンにおける慣習経済の機能と役割—アンディジャン州におけるマハッラの共同体像と社会的紐帯—
5	佳作	小野 林太郎	セレベス海域における海洋資源利用と生計戦略—民族考古学的アプローチからの地域研究の試み—
5	佳作	徐 蘇斌(じょ そひん)	中国における都市・建築の近代化と日本
6	本賞	中西 嘉宏	ネー・ウィン体制期ビルマにおける政軍関係(1962-1988)
6	本賞	オトマズギン ニシム	地域化するポップ・カルチャー 日本文化産業の東・東南アジア地域展開 1988-2005
6	佳作	遠藤 環	グローバル化時代のバンコクにおける構造変化とインフォーマル経済
7	本賞	井上 さゆり	ビルマ古典歌謡におけるジャンル形成—18-19世紀のウー・サの創作を中心として—
7	本賞	園田 節子	近代におけるヒトの国際移動の歴史研究—南北アメリカ華民と近代中国の関係構築
8	本賞	李 東俊(り どんじゅん)	米中『和解』と朝鮮半島分断構造の変容、1969-1975年
8	佳作	岩谷 將	中国国民党訓政体制の研究
8	佳作	林 初梅	『郷土』としての台湾—郷土教育の展開に見るアイデンティティの変容
9	本賞	吉田 真吾	日米同盟の制度化 1963-1978年
9	本賞	矢野 順子	ラオスの国民形成と言語ナショナリズム—植民地時代から社会主義革命まで(1893-1975年)—
9	本賞	易 平(い へい)	戦争と平和の間—発足期日本国際法学における「正しい戦争」の観念とその帰結—
9	佳作	趙 胤修(ちょ ゆんす)	日韓漁業交渉の国際政治—海洋秩序の脱植民地化と「国益」の調整—
10	本賞	麻田 雅文	中東鉄道経営史—ロシアと「満洲」、1896-1935年—
10	本賞	上野 雅由樹	タンズィマート期オスマン帝国における非ムスリムの『宗教的特権』と『政治的権利』：アルメニア共同体の事例から
11	本賞	金 明洙(きむ みよんす)	近代日本の朝鮮支配と朝鮮人企業家—朝鮮財界—韓相龍の企業活動と朝鮮実業倶楽部を中心に—
12	本賞	箕曲 在弘	フェアトレードの生産者への影響をめぐる人類学的研究—ラオス南部ボラベン高原のコーヒー栽培農村の事例から—
12	本賞	阿拉木斯(あらむす)	清代内モンゴルにおける農地所有とその契約に関する研究—帰化城トゥメト旗を中心に—
12	佳作	劉 靖(りゅう じん)	公立学校選択における不平等：中国都市部での「择校」に関する言語と実践
12	佳作	ダライバン・ビャンバジャフ	モンゴルにおけるポスト社会主義への移行と市民社会形成
13	本賞	會田 剛史	Irrigation, Community, and Poverty (灌漑、共同体、貧困)
13	佳作	上野 俊行	ベトナム社会におけるバリアフリー—北京・バンコク・台北の公共交通機関のバリアフリー化と比較して—
13	佳作	小林 篤史	19世紀における東南アジア域内交易の発展—シンガポールの役割を中心に

アジア太平洋研究賞受賞者

回	区分	氏名	学位論文タイトル
14	本賞	長田 紀之	インド人移民の都市からビルマの首都へ：植民地港湾都市ラングーンにおけるビルマ国家枠組みの生成
14	佳作	池田 真也	経済発展下における伝統的青果物流通の展開—ジャワにおける大都市へ向けた野菜の集荷・卸の変容—
14	佳作	李 海訓(り かいくん)	中国東北における稲作農業の展開過程
15	本賞	里見 龍樹	ソロモン諸島マライタ島北部のアシノラウにおける「海に住まうこと」の現在：別様でありうる生の民族誌
15	佳作	藏本 龍介	世俗を生きる出家者たち：上座仏教徒社会ミャンマーにおける出家生活の民族誌
15	佳作	星野 壮	在日ブラジル人とキリスト教についての研究
15	佳作	李 暉(り ほう)	『营造法式』にみる中国宋代における技術設計原理と部材加工技術
16	佳作	湯川 勇人	東アジア秩序をめぐる日米関係：1930年代の外務省による東亜新秩序の模索
17	佳作	金南 咲季	多文化接触領域における共生に関する社会学的考察—外国人学校をめぐる社会的実践の変容を焦点に—
17	佳作	谷口 美代子	「自由主義的・平和構築論 (Liberal Peacebuilding)」再考—フィリピン・ミンダナオにおける紛争・暴力・平和の事例から—
18	佳作	黄 潔(こう けつ)	セン (Senl) の民俗誌—中国南部におけるトン族 (Kam) の流域社会システム論—
18	佳作	朴 敬珉(ぱく きょんみん)	朝鮮縁故者と日本の対韓外交の源流—「植民地財産の数字」に収斂した認識と対応、1945-1953
18	佳作	アレキサンドラ パーボ ウィッチ	試される正義：極東国際軍事裁判の再評価 1945-1956年
19	本賞	海野 典子	新月と満月の下で：北京のイスラムの矛盾と一貫性 1906-1913
19	本賞	岡部 正義	フィリピンにおける教育開発分野の「逆向きジェンダー格差」に関する経済分析
19	佳作	上野 愛実	トルコ共和国における宗教教育政策 (1940年代～1970年代)：宗教教育の再開から必修化まで
19	佳作	櫻田 智恵	「国王神話」の形成過程—タイ国王の行幸と「陛下の映画」の役割—
20	本賞	岡田 美保	日ソ国交回復交渉の再検討—ヤルタ合意と二つの対日交渉方針—
20	佳作	于 海春(う かいしゅん)	中国の権威主義体制下におけるメディア統制の重層性—現代中国におけるローカルメディアとメディアシステムの比較分析を通じて—
20	佳作	長岡 慶	現代ヒマラヤ世界におけるチベット医学の制度化と病気治療—インド北東部タワンの暮らしと病いの民族誌—
20	佳作	南波 聖太郎	ラオスにおける社会主義と中立主義の相克：デタント期社会主義陣営の最辺境における解放区の多元的展開 (1945-1975)
21	本賞	大谷 亨	無常鬼の研究—〈精怪〉から〈神〉への軌跡—
21	本賞	拉加本(らあじゃぶん)	チベット・アムド地域における村落社会と信仰生活の変容に関する人類学的研究—中国青海省海南チベット族自治州貴南県ボンコル村の事例から
21	佳作	王 楽(おう らく)	満洲国農村部における宣撫宣伝活動のメディア史
22	本賞	黄 喜佳(こう きか)	現代中国の中央地方関係再考—集権と分権を架橋する広域統治機構の視角から
22	佳作	クリディッコーン ウォンサ ワーンパーニット	病める王国—タイ王党派の物語りの政治—
22	佳作	グエン ティレ	北部ベトナム少数民族における出産 —モン事例にみる選択と行為主体性
23	本賞	温 秋穎(おん しゅうえい)	〈声〉の中国語受容の文化史研究—もう一つの教養語をもとめた近代日本
23	佳作	パッタジット タンシンマン コン	タイの外交史を読み直す—「竹の外交論」からの脱却—
23	佳作	三代川 夏子	自民党政治と「二つの中国」—日台間における非公式チャンネルを中心に—
23	佳作	楊 峻懿(よう しゅんい)	海を越える「水産知」—近代中国における水産人材の育成とその活動
24	本賞	周 俊(しゅう しゅん)	中国共産党の神経系—情報収集システムの起源、構造及び機能 (1940～50年代) —
24	本賞	ザヘラ モハッラミプール	20世紀初頭の日本における「東洋」概念の拡張—伊東忠太とその周辺の建築家・美術史家・歴史学者たちのペルシア観を中心に
24	佳作	団 陽子	戦中戦後の国際関係における中華民国の対日賠償要求問題
24	佳作	西浦 まどか	手話を聞く—バリ島ブンカラ村における「聾であること」と〈身体のパオエティクス〉